

## 留学体験レポート

国際学部国際文化学科  
21018055 東海林まつり

まず、韓国に留学した4か月間は私にとって人生で最も濃い経験であり、派遣留学に参加して本当に良かったと思います。私は海外に行ったことがなく、初めての海外で日本と文化が違うということもあり、韓国に来た初日から日本に帰りたいたと感じました。初日から最も驚いたことは、交通機関とお店の接客についてでした。初日にみんなで夕飯を食べに行ったお店の店員の接客が怖いと感じたことと、歩道でもバイクが走り、車も近距離で通ることがあり、日本に帰りたいたと思いました。しかし、何日か生活し、いろいろなところへ行くうちに、韓国がすごく楽しいと思うようになりました。

大学では初めは新潟の生徒だけの授業で、基礎から韓国語を改めて学びました。授業はもちろん全部韓国語で、最初はうまくやっていたか不安でしたが、先生方もとても親切で楽しい授業でした。10月からは色々な国の人と同じクラスで授業を受けることになりましたが、私のクラスは新潟の生徒が6人も集まっていた、最初は安心しました。スウェーデン、香港、台湾の生徒がクラスにいて、最初の頃は言葉がうまく伝わらないこともあり、教室が静かでしたが、毎日一緒に授業を受けるごとに韓国語で会話することに慣れ、仲良くなることができました。また、現地学習で南怡島に行った時は、クラスみんなで写真大会のためにいろいろな写真を撮り、さらに仲良くなることができ、次第に別れが寂しくなりました。

私のトウミであるイスジさん、ルームメイトの渡辺杏実さんのトウミのリュチェヨンさんの4人で毎回、色々なところへ出かけました。2人とも女の子で歳も近い方だったので、トウミが2人いるようで、すごく仲良くなれました。大学の近くのいろいろな美味しいご飯屋さんに連れて行ってもらい、韓国生活の役に立つことをたくさん教えてくれました。中でも1番初めに連れて行ってもらった大学近くのポッサムのお店の美味しさに感動してその後何回も行きました。1番の思い出は4人でエバーランドに行ったことです。電車やバスを乗り継ぐ遠いところにある遊園地で、トウミのオンニたちのおかげで迷うことなく行くことができました。日本にはないようなアトラクションがあって、1日ではまわりきれない遊園地で本当に楽しかったです。イスジさんとは日本に帰ってからも韓国語を忘れないようにと、毎日連絡をとってくれています。

週末は学校が休みなので、毎週カフェや買い物に行き、韓国を思いっきり楽しみました。ソウルは都会なので暇になることがなく、行きたいところがたくさんあって時間が足りないと思うほどでした。特に韓国はカフェ文化が盛んなので、どこにでもお洒落でかわいいカフェがあり、カフェ巡りが毎週の楽しみでした。特に楽しかったことは、私とルームメイトの渡辺さんも韓国のアイドルが好きなので、毎週のようにアイドルを見に行き、

コンサートにも行くことができました。

韓国語の上達はもちろん、韓国でやりたかったことをほとんど達成することができ、本当に悔いのない留学でした。

